

市民に開かれた、 成長する、 集まりやすく居心地のよい、 さいたま市市民活動サポートセンター

2007年10月25日にオープンした“さいたま市市民活動サポートセンター”は、さいたま市の市民活動（非営利で公益的な市民の活動）を支援するための施設です。さいたま市では都市づくりの基本理念として市民と行政の協働を掲げており、このサポートセンターはそうした協働をつくりだす場としても期待されています。このサポートセンターをつくるに際して、計画策定当初から市民が参加し、市民と行政との協働が進めてきました。本書では、その経緯を詳しく紹介します。



さいたま市市民活動サポートセンターは、JR浦和駅東口につくられた駅前再開発ビル（地下4階・地上10階／延べ面積108,138㎡）の8～10階に設置された公共施設部分「コムナーレ」内の9階に位置する。駅の目の前にある好立地で、地下4階～地下2階には市営駐車場、地下1階～7階には店舗やシネマ・コンプレックス、8階には中央図書館、9階には市民活動サポートセンターのほか国際交流センターと浦和消費生活センターが、10階と9階の一部には浦和コミュニティセンターがあり、賑わいのある空間である。



市民活動サポートセンターを訪れると、まずエレベータ前に広いスペースがある。この右手に南ラウンジ、左手に北ラウンジ、奥に中央ラウンジが配され、それぞれで市民活動のための打ち合わせ・会議や交流を行えるようになっている。写真は、左（p.2）がエレベータ前ホール、中が中央ラウンジ、下が南ラウンジである（p.55,70-73 参照）